

ニュースクリップ & 映像教材

- メディア教育開発センター 2つの報告書を発表
- 松下教育研究財団「第33回実践研究助成」助成先決定
- 日本映画テレビ技術協会「映画テレビ技術2007」開催
- 科学技術教育協会「第9回教育ICT試験」実施
- 「第48回科学技術映像祭」入選作品決定
- 日本教育工学振興会「Campusセミナー 2007in鹿児島」開催

AV情報

■メディア教育開発センター 2つの報告書を発表

独立行政法人メディア教育開発センターは、このほどICTを活用した教育に関する2つの報告書を発表した。

- 「eラーニング等のITを活用した教育に関する調査報告書」
同センターが、文部科学省と連携して、高等教育政策の企画立案の資料を整備するとともに、高等教育機関におけるeラーニング等のITを活用した教育の推進に必要な情報を提供する観点から、全国の大学・短期大学・高等専門学校を対象に、IT活用教育の導入割合、eラーニング導入の割合およびその推移、導入目的、メリットとデメリット、学習効果や質保証、課題、取組形態、IT活用による授業改善、ラーニング・マネージメント・

システム等の項目についてアンケート方式により実施し、その結果を調査分析し、まとめたもの。大学等15機関におけるIT活用教育の先導的な事例も紹介。

- 「諸外国におけるICT活用教育に関する調査研究報告書」
米国、EU（英国）、オーストラリア、韓国におけるeラーニング等のICT活用教育の最新動向に関する調査研究報告。調査各国の①eラーニング等のICT活用教育の導入状況②質の向上への取組状況（各国の関連施策、質保証機関の活動概要、高等教育機関の取組事例）③コンテンツ共有・再利用（海外のゲートウェイ機関等の概要、活動内容、著作権の処理）④学習スタイル（学習形態、調査研究事例）等に関する調査結果。特に、各国の先進的な取り組みを進めている代表的な高等教育機関の事例を紹介するとともに、コンテン

ツ共有・再利用を行っている代表的な機関の取組事例を詳細に紹介している。

ともに詳細は、<http://www.nime.ac.jp/>を参照。

■松下教育研究財団「第33回 実践研究助成」助成先決定

（財）松下教育研究財団による標記助成先が決定した。「実践研究助成」は、視聴覚・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究計画への助成を行うもので、今回の助成件数は70件（小学校34、中学校15、高等学校11、特別支援教育諸学校9、教育研究所・教育センター1）である。

助成先の詳細については、（財）松下教育研究財団のホームページ<http://www.mef.or.jp/>を参照。

■日本映画テレビ技術協会「映画 テレビ技術2007」開催

（社）日本映画テレビ技術協会

では「新たな創造の世界を目指す、プロ技術の祭典」をテーマに、標記イベントを開催する。

〈開催日時〉

平成19年6月5日(火)～7日(木) 10:00～17:00

〈開催場所〉

東京北の丸公園・科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)

〈内容〉

○「映像フォーラム」(有料)映像制作に携わる方々を対象に、時代のニーズに合わせたテーマを業界の最前線で活躍されているエキスパートの方々を招いて開催。

○「映画カメラ みて、さわられる!コーナー」映画の撮影現場で活躍しているカメラを一堂に集め、プロの指導で実際に操作を体験。

○「デジタルコンテンツシンポジウム」(有料)等

〈問い合わせ先〉

(社)日本映画テレビ技術協会事務局

TEL 03-5255-6201

<http://www.eigatv.jp/>

■科学技術教育協会「第9回教育ICT試験」を実施

教育関係者対象に児童生徒の情報活用能力向上および基礎学力を高めるために教員のICT活用能力向上を目指して、(財)科学技術教育協会による標記試験が実施される。

〈日程〉

平成19年6月10日(日)

○3級 10時00分～11時30分(試験時間80分)

○2級 13時30分～15時40分(試験時間120分)

〈試験会場〉

札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、金沢、大阪、神戸、広島、松山、福岡の全国11会場

〈内容〉

○3級 パソコンの基本的な知識を有し、さまざまなメディアを利用した学習指導、校務処理、およびインターネットなどの基本的な操作等ができることを目標とする。

○2級 授業などでの児童生徒に対する高度なICT活用指導力を有し、学習指導・校務処理や学校運営における教員への適切な助言などができることを目標とする。

〈出題形式・配点〉

○3級 多肢選択式 40問 100点

○2級 多肢選択式 40問 100点

※原則として、70%以上の正答率をもって合格とする。

〈受験料(税込)〉

教員・一般

3級:5,000円 2級:6,000円

大学生

3級:4,000円 2級:5,000円

〈問い合わせ先〉

(財)科学技術教育協会教育ICT試験事務局

TEL 03-5367-9511

<http://www.fest.or.jp/>

コンクール情報

■「第48回科学技術映像祭」入選作品決定

優れた科学技術映像を選奨し、科学技術の普及と向上を図ることを目的に(財)日本科学技術振興財団、(財)日本科学映像協会、(社)映像文化製作者連盟、(財)つくば科学万博記念財団の共催による標記映像祭の入選作品が発表された。全国52機関から、82作品の応募があった。

内閣総理大臣賞には、「NHKスペシャル 神秘の海 富山湾一海の中までアルプスがつづく」(企画・制作 日本放送協会富山放送局)が受賞した。

〈表彰式・入選作品発表会〉

表彰式は、4月20日東京・北の丸公園科学技術館にて。また、4月19日から全国13都市で入選作品の発表会を実施。

〈問い合わせ先〉

(財)日本科学技術振興財団振興事業部

TEL 03-3212-8487

研究会情報

■日本教育工学振興会「Campusセミナー 2007in鹿児島」開催

ICT活用の先進事例と今後の方向性をテーマに、(社)日本教育工学振興会では、標記セミナーを開催する。

〈日時〉

平成19年4月21日(土)

10:00～15:30

〈会場〉

ジャングルパークベイサイドガーデン(鹿児島県鹿児島市与次郎1-7-18)

〈対象〉

小、中、高等学校の教員、および教育委員会の方。定員250名。入場無料。参加申し込み必要。

申し込みは、<http://www.japet.or.jp/>から。

〈内容〉

「教育の情報化」最新動向、海外における学校でのICT活用状況について、学校間ネットワークの構築と活用、新OSの教育機関での有効活用、授業支援ツールとしてのタブレットPC紹介、自治体・学校ではじまった無料通話ソフトの実践活用等。

〈問い合わせ先〉

(社)日本教育工学振興会

TEL 03-5575-5365

訃報

■(財)日本視聴覚教育協会評議員・筑波大学名誉教授大内茂氏が3月22日、ご逝去された。享年86歳。